

## 参 考 見 積 条 件

## 第 1 節 総 則

## 1-1. 業務目的

本業務は、ダム等管理フォローアップ制度に基づき、武蔵水路改築事業に関する年次報告書の作成を目的とする。

## 1-2. 準拠基準等

受注者は、設計図書によるほか、次の基準類によらなければならない。

- (1) 「ダム等管理フォローアップ定期報告書作成の手引き [平成 26 年度版] (平成 26 年 4 月) 国土交通省河川局河川環境課」(以下「定期報告書手引き」という。)
- (2) 「ダム等管理フォローアップ年次報告書作成の手引き [平成 15 年度版] (平成 15 年 7 月) 国土交通省河川局河川環境課」(以下「年次報告書手引き」という。)
- (3) その他、調査職員が指示するもの

## 1-3. 資料の貸与及び返却

本業務の貸与資料は、次のとおりである。

- (1) 武蔵水路管理フォローアップ資料作成業務報告書 (令和 8 年 3 月)
- (2) 武蔵水路都市用水導水実績 (令和 7 年度)
- (3) 武蔵水路都市水利水者別導水実績 (令和 7 年度)
- (4) 河川浄化用水導水実績 (令和 7 年度)
- (5) 武蔵水路内水排除実績 (令和 7 年度)
- (6) 令和 7 年水資源機構施設等管理年報  
(利根大堰等、秋ヶ瀬取水堰及び朝霞水路、埼玉合口二期)
- (7) 令和 7 年水質年報 (利根大堰等、秋ヶ瀬取水堰及び朝霞水路、埼玉合口二期)
- (8) 利根大堰外水質調査業務 報告書 (令和 8 年 3 月)
- (9) 武蔵水路 (堤外水路部) 植物調査定点写真
- (10) 令和 7 年度利根大堰施設見学者人数
- (11) 国土交通省河川水辺の国勢調査 (魚類調査・底生生物調査) (令和 7 年度)
- (12) その他、調査職員が認めた資料

## 第 2 節 業務内容

## 2-1. 計画準備

受注者は、業務全般を把握し業務内容の要点を整理・確認の上、業務計画書を作成し、調査職員に提出するものとする。

## 2-2. 年次報告書等の作成

## 2-2-1. フォローアップ調査結果の更新

定期報告書手引き及び年次報告書手引きに基づき、下表に示す調査項目の更新を行うものとする。

調査項目		調査地点		更新・整理内容		
事業の 効果に 関する 項目	内水排除	武蔵水路		武蔵水路による内水排除実績を基に、過年度の年次報告書作成業務報告書で整理した結果を更新（令和7年度）		
	利水導水	武蔵水路		都市用水導水量、導水日数を基に、過年度の年次報告書作成業務報告書で整理した結果を更新（令和7年4月～令和8年3月）		
	河川浄化用水	浄化用水把握地点 (荒川)	秋ヶ瀬取水堰		過年度の年次報告書作成業務報告書を基に、武蔵水路改築前後における浄化用水導水の有無による水質（BOD）の違いを整理する	
浄化用水把握地点 (新河岸川)		芝宮橋				
河川の 環境に 関する 項目	取水による 利根川へ の影響	水質・ 流量	取水部（利根大堰）上流	利根大堰上流 (KP154km)	公共用水域水質調査結果等を基に、過年度の年次報告書作成業務報告書で整理した結果を更新（令和7年4月～令和8年3月）	
			渡良瀬川合流点下流	栗橋(利根川) (KP130km)		
			利根川合流点上流	三国橋(渡良瀬川)		
			渡良瀬川合流点下流	栗橋(利根川) (KP130km)	公共用水域水質調査結果等を基に武蔵水路による利根川からの取水が無かった場合の栗橋地点のBODの数値を試算し、武蔵水路の供用による影響について、過年度の年次報告書作成業務報告書で整理した結果を更新	
	生物	底生動物	取水部（利根大堰）上流	坂東大橋 (KP180km)	国土交通省が令和7年度に実施した河川水辺の国勢調査（底生動物調査）を基に、過年度の年次報告書作成業務報告書で整理した結果を更新	
			取水部（利根大堰）下流	利根大堰下流 (KP154km)		
	注水による 荒川へ の影響	水質・ 流量	注水部（荒川合流工）上流	久下橋 (KP74.0km)	公共用水域水質調査結果等を基に、過年度の年次報告書作成業務報告書で整理した結果を更新（令和7年4月～令和8年3月）	
			注水部（荒川合流工）下流	御成橋 (KP61.2km)		
		生物	魚類	注水部（荒川合流工） (KP64km)上流	久下橋 (KP74.0km)	国土交通省が令和7年度に実施した河川水辺の国勢調査（魚類調査）を基に、過年度の年次報告書作成業務報告書で整理した結果を更新
				注水部（荒川合流工） (KP64km)下流	御成橋 (KP61.2km)	
地域社会への 影響 に関する 項目	周辺地域動態	武蔵水路周辺地域		過年度の年次報告書作成業務報告書で整理した期間以降でデータ入手可能な範囲で人口動態、イベント開催状況、施設来訪者数等を整理（令和7年4月～令和8年3月）		

## 2-2-2. その他実績等整理

### (1) 環境の変化と武蔵水路の関連に係る評価（水質調査）

第2節 2-2-1. で更新した公共用水域水質調査結果等を用いて、武蔵水路による利根川からの取水が無かった場合の栗橋地点のBODの数値を試算し、武蔵水路の供用による影響を評価するものとする。なお、試算に当たっては、出水時流量を含まない平均流量を用いた場合についても試算するものとする。

### (2) 武蔵水路利水者別導水実績の整理

令和7年度の武蔵水路導水実績（月報）について、利水者からの申込水量と水利権量を用いて、利水者別（東京都上水、東京都工水、埼玉県上水、埼玉県工水）の導水実績を算出し、月報として整理するものとする。

## 2-3. 報告書作成

2-1, 2-2の業務内容について、フォローアップ年次報告書及び業務報告書として取りまとめるものとする。

以 上